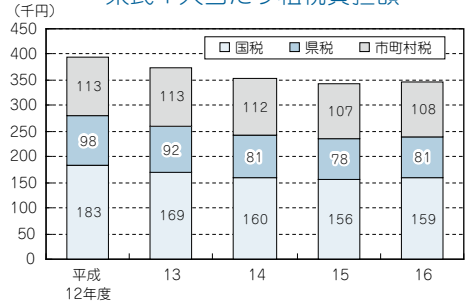


(県一般会計)

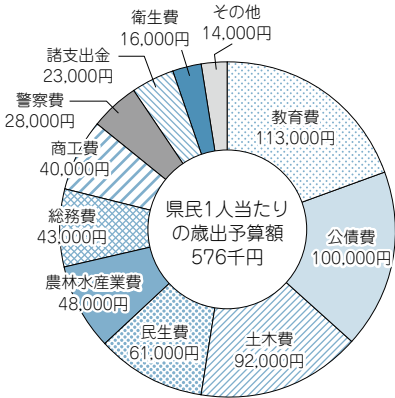
平成19年度の本県の一般会計当初予算額は3,488億円となっており、県民1人当たりの歳出予算額を見ると、「教育費」が113千円と最も多く、次いで「公債費」「土木費」の順となっています。

また、目的別予算額の推移を見ると、近年、「土木費」「農林水産業費」「商工費」が減少傾向となっている一方、「教育費」「公債費」はほぼ横ばいとなっています。

県民1人当たり租税負担額

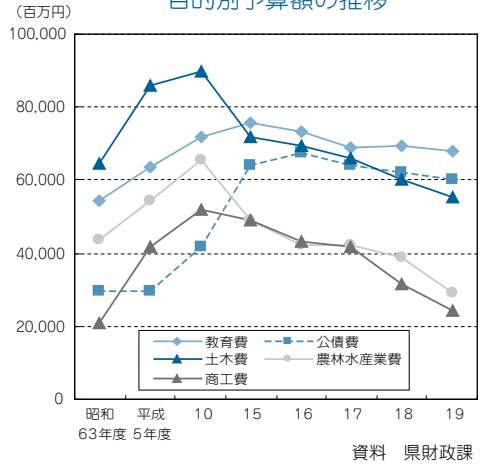


県民1人当たりの歳出予算額 (平成19年)



※平成19年度一般会計当初歳出予算額を平成19年4月1日現在の県推計人口(600,209人)で除したものの。

目的別予算額の推移



一般会計決算額

(歳入)

単位：百万円

年次	総額	うち主要科目							財政力指数
		県税	地方交付税	使用料及び手数料	国庫支出金	財産収入	諸収入	県債	
平成15年度	436,387	47,700	134,211	8,292	70,164	991	47,086	78,997	0.227
16	418,775	49,320	129,333	8,280	70,628	1,002	47,191	65,707	0.225
17	390,684	49,575	129,125	5,290	62,652	1,167	43,679	57,846	0.239

(歳出)

単位：百万円

年次	総額	うち主要科目									
		総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	警察費	教育費	公債費	諸支出金
平成15年度	416,302	32,010	37,930	9,743	49,263	39,646	73,061	22,329	69,507	63,538	13,971
16	404,833	25,130	38,640	10,129	41,606	36,921	70,512	17,461	69,878	70,468	15,297
17	382,174	23,945	33,242	10,283	38,684	31,840	67,077	17,220	66,916	64,822	14,221

資料 総務省「都道府県決算状況調べ」、県財政課